

What works best: 2020 update  
Overview of research into best teaching practices  
Information for parents and carers of school students

最良の指導方法とは:  
2020年 最新版  
最良の指導方法についての研究概要  
保護者の方々へのご案内



NSW公立学校は、何が児童・生徒の学習に最も大きな違いをもたらすかを把握し、そうした理解に基づく効果的な指導方法の実践に尽力しています。

2020年、NSW教育省は効果的な指導に関わる極めて重要な研究についての最新情報を発表しました。この報告は「最良の指導方法とは：2020年最新版 (What works best: 2020 update)」と呼ばれるもので、学校教師が授業におけるより効果的な学習サポートに用いることができる、8種類の証拠に基づいた指導法について概説しています。「最良の指導方法とは：2020年最新版」は、今後何年間にもわたり、学校における指導および学習について重要な情報を提供していくことになるでしょう。

本文書では、「最良の指導方法とは」で報告された8種類の指導法の要約を以下にご紹介しています。この中には、ご家庭でのサポートに用いることができる会話の例文も含まれています。こうした会話をご家庭でされる場合は、一度に多くの質問を行うのではなく、一度に1組の質問だけ用いるよう勧められています。

‘What works best: 2020 update’ の報告書は、その他の証拠に基づく学校向け資料とともに以下ウェブサイトよりご覧いただけます。

[education.nsw.gov.au/about-us/educational-data/what-works-best-2020-update](http://education.nsw.gov.au/about-us/educational-data/what-works-best-2020-update)

## 1. 大きな期待

教師が大きな期待をかけた児童・生徒には、最も高い学習効果がもたらされます。大きな期待をかけるということは、教師が熱心に働きかけて児童・生徒に関心をもたせたり、新しいことを学ぶよう奨励したり、また必要な時には助けの手を差し伸べたりすることを意味します。また、児童・生徒のふるまいや学習方法についても明確かつ一貫した指導を行い、その一方で児童・生徒のニーズに応じて調整できる柔軟性をもつことも含まれています。

### ご家庭での質問例

- お子さまがプライマリー・スクールに通っている場合：いま知っていることやできることを、どうやって学校の先生にみせているの？
- お子さまが中等学校に通っている場合：学校の先生は、次に何を教えるか決めるために、あなたの今の学力を知っておく必要があるんだね。いま知っていることやできることを、どうやって学校の先生にみせているの？

## 2. 明確な指導

明確な指導を受けた児童・生徒には最も高い学習効果がもたらされます。こうした学習効果は、特に何か新しいことを学ぶ際に顕著にもたらされます。明確な指導には、教師が児童・生徒に対して「なぜ新しいことを習うのか」、「既に習っていることと、どう関係しているのか」、「先生は何を期待しているのか」、「どのように学べばよいのか」、そして「しっかりと学べばどう役立つのか」などの事柄を明確に説明することが含まれています。

### ご家庭での質問例

- お子さまがプライマリー・スクールまたは中等学校に通っている場合：今日習ったことについて話してくれる？簡単だった、それともいくつか質問するまで分からなかった？どういう理由で「分かった」と納得できたのかな？

## 3. 効果的なフィードバック

教師により効果的なフィードバックを与えられた児童・生徒には、最も高い学習効果がもたらされます。効果的なフィードバックとは建設的で詳細にわたり、かつ具体的な意見または感想を指します。これらのフィードバックは特定の課題に対する児童・生徒の成績に焦点を当て、間違えた箇所や、今後の成績向上のためには何が必要かを明らかにするものです。

### ご家庭での質問例

- お子さまがプライマリー・スクールまたは中等学校に通っている場合：新しいことを勉強しているとき、どうすれば自分は順調に進んでいるかどうか分かるの？次回、成績を伸ばすためには何をすれば良いか、どうすれば分かるかな？

## 4. 積極的なデータの活用

教師がデータを活用して学習状況を確認し、次の指導内容を計画することで、児童・生徒には最高の学習効果がもたらされます。データとは、こうした教師の活動を助ける、あらゆる形態の情報を指します。これらのデータは、授業中の小テストや先生の質問に対する児童・生徒の回答、課題や研究、正式な試験など、さまざまな角度から集めることができます。

## 5. アセスメント

教師が質の高いアセスメント（成績評価）を活用することで、児童・生徒には最も高い学習効果がもたらされます。アセスメントとは、児童・生徒の現在の学習レベルを評価するために教師が利用するさまざまな活動を指します。こうした活動には正規の試験や調査だけでなく、児童・生徒への質問や、研究・課題の評価など形式ばらない活動も含まれます。

### ご家庭での質問例

- お子さまがプライマリー・スクールに通っている場合：いま知っていることやできることを、どうやって学校の先生にみせているの？
- お子さまが中等学校に通っている場合：学校の先生は、次に何を教えるか決めるために、あなたの今の学力を知っておく必要があるんだね。いま知っていることやできることを、どうやって学校の先生にみせているの？

## 6. クラスの管理

教師がクラスをうまく管理することで、児童・生徒には最も高い学習効果がもたらされます。クラスの管理には、教師が児童・生徒のために安全で前向きかつ刺激的な学習環境を促進することを目的として行う幅広い活動が含まれます。

### ご家庭での質問例

- お子さまがプライマリー・スクールに通っている場合：教室の中で守らなければいけない規則や、期待されていることはある？ あったら、いくつか教えてくれる？ 規則をちゃんと守るとどうなるのかな？ 逆に、守らなかったらどうなるの？
- お子さまが中等学校に通っている場合：あなたの学校か教室には、特別な規則や、期待されていることはある？ あったら、いくつか教えてくれる？ 生徒がそれらに従うとどうなるのかな？ 逆に、従わなかったらどうなるの？

## 7. 児童・生徒の健康と満足度

高いレベルの健康および満足度（ウェルビーイング）を保つことで、児童・生徒には最も高い学習効果がもたらされます。児童・生徒の健康および満足度には、広義で精神的、身体的、情緒的な健康も含まれており、また彼らが学習においてサポートされていると感じること、周囲と健全な関係を築くこと、さらに明確な意義や目的意識をもつことなども含まれています。教師は、以下のようにして児童・生徒の健康および満足度をサポートすることができます。

- 安全な環境を構築する
- 児童・生徒の帰属意識を助長する
- 児童・生徒の意見や考え方を尊重する
- 児童・生徒が学習に興味をもつよう奨励する
- 感情の抑制・制御を助ける
- 教師や他の児童・生徒との前向きな関係構築をサポートする

### ご家庭での質問例

- お子さまがプライマリー・スクールまたは中等学校に通っている場合：いま学校についてどう思っているの？ 何かたいへんに思うことや難しいと感じることはない？ 嫌なことがあった時や何か問題がある時はどうすれば良いか、または誰に話せばよいか知っている？ 校内で誰か気をかけてくれる人はいる？



## 8. コラボレーション

教師が積極的に協力（コラボレーション）を行うことで、児童・生徒には最も高い学習効果がもたらされます。こうした協力には、教師が自らの指導を向上させるために他の教師または外部の専門家と協力して取り組むことも含まれています。また効果的なコラボレーションには、複数の教師が一緒に授業の計画を立てることや、一緒に指導プログラムを作成すること、互いの授業を観察して意見を交換すること、互いの職務に関連する問題について考え、話し合うことなども含まれることでしょう。

### 事例 ...

#### Aldavilla Public Schoolにおける大きな期待の実践

Aldavilla Public Schoolでは、児童・生徒に大きな期待をかけることにより優れた成果がもたらされています。同校では常に児童・生徒たちに対して、彼らの希望は将来必ず叶うものと言い聞かせました。Aldavilla Public Schoolでは、特に目標を設定することで児童・生徒への大きな期待が実践されています。児童・生徒には達成可能な学習目標に向かって勉強することが期待され、教職員は常に次なる目標に向かって努力するよう彼らを励ましたのです。

学校も、全校をあげてのアプローチで大きな期待の実践を奨励しています。例えば、すべてのクラスにおいて同一の行動管理システムが適用されています。また同校では、児童・生徒と教師の関係も重視しています。すべての教師は児童・生徒について理解するよう努め、また常に彼らに対して注意を払っていることを示しています。これらは例えば、児童・生徒に対して週末に何をしたのか尋ねてみたり、校内に兄弟や姉妹がいるかどうか把握したりすることで簡単に行うことができます。

### 事例 ...

#### Concord High Schoolにおける積極的なデータ活用の実践

Concord High Schoolでは、数学の教師たちが生徒のHSCのデータを毎年詳しく調査し、その結果を活用してYear 7~Year 11用指導プログラムの計画を立てています。数学の主任教師は次のように述べています。「私たちは生徒がよく間違える問題について調査を行い、その内容に基づいてプログラムを再構築します。例えば、本校の生徒はかつてHSCの‘significant figures’（「有効数字」）の分野において良い成績を残せていませんでしたので、現在は‘significant figures’をYear 7から取り入れるようにしています。つまり本校の生徒は‘significant figures’を用いた概算を6年間かけて習得することができます。このため、‘significant figures’の習得は今や大きな問題ではなくなっています。」

この他にも、児童・生徒の知識や理解の段階に合わせた効果的な教育を実現するため、学年度の途中でプログラムを再構築して、学習テーマの順序を変更する場合があります。数学の主任教師はさらに次のように述べています。「本校の生徒は、かつて‘probability’（確率）の分野が非常に苦手でした。そしてプログラムを確認すると、毎年‘probability’は学年の終わりに扱われていることが分かったのです。そこで我々は、いくつかの学年において少し早めの時期に指導を開始するよう変更しました。」

### 電話通訳サービス

さらに詳しい情報をご希望の方は、学校長までお問い合わせください。お問い合わせの際に通訳を希望される方は、電話通訳サービス (TEL: 131 450)をご利用いただけます。オペレーターが電話に出たら、日本語の通訳をご指定のうえ、相手先の電話番号をお伝えください。通訳が電話を介して会話をお手伝いします。このサービスは無料でご利用いただけます。